

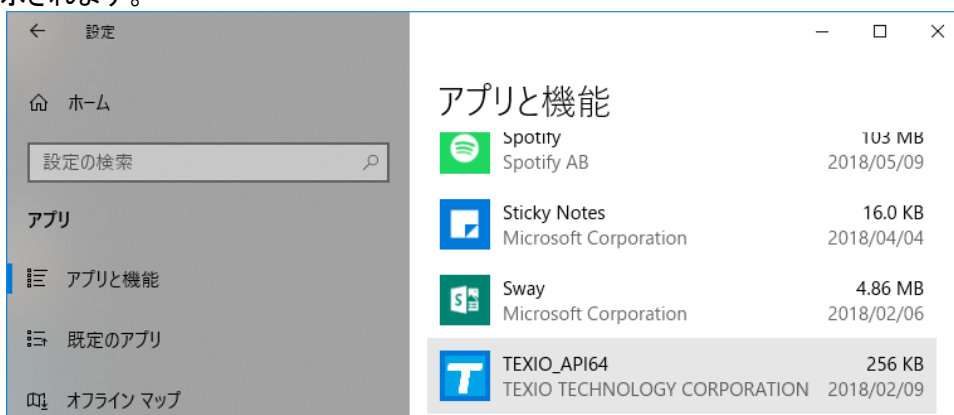
TEXIO-USB デバイスのセットアップについて

PC の OS 環境が従来と異なり、API がインストールできない PC が増えてきましたので現状の PC での対応方法を記述したガイドラインを作成しました。

- ・インストールは API とドライバの 2 回が必要です。自動では設定されないのをご注意ください。
- ・管理者権限で行ってください。
- ・弊社 HP から対象機種種の API・デバイスドライバをダウンロードしてください。

API のインストールについて


- ・ PC に管理者権限でログインし、Windows Update を全て完了させます。更新ファイルがなくなるまで行わない場合は API のインストールが失敗することがあります。
- ・ API フォルダにある TEXIO_API32.msi(32bit 向け)または TEXIO_API64.msi(64bit 向け)をダブルクリックし、メッセージに従ってインストールを行います。登録後は「アプリと機能」に TEXIO_API32 または TEXIO_API64 が表示されます。

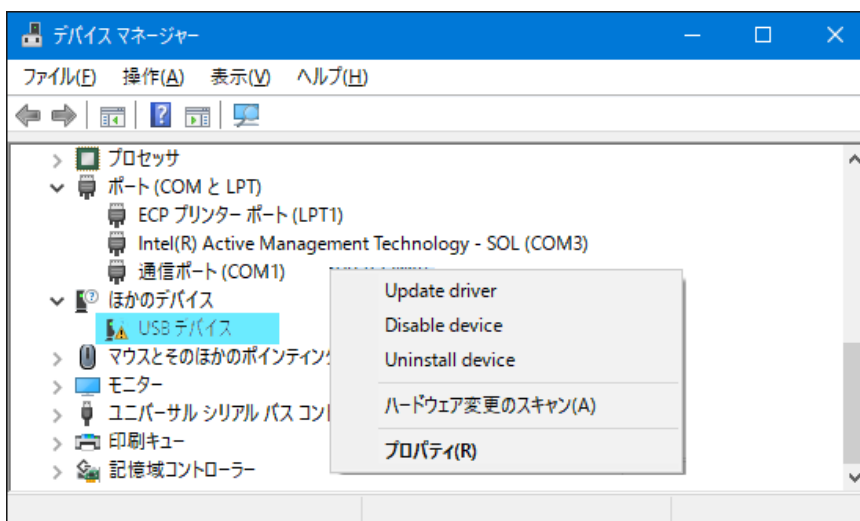


Windows Update が正常に完了している場合は、Microsoft.net Framework 4.6 以後と Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable 以後が入っています。

DLL の場所は c:\windows\system32 及び c:\Windows\SysWOW64(64bit のみ)になります。Tmi_Api.dll、IF_50.dll、IF_60.dll があれば正常です。ユーザーアカウント制御の設定により Windows フォルダが仮想化されている場合は、ユーザーを切替えるとファイルが見えなくなることがあるので注意してください。

USB デバイスドライバのインストール

- ・ デバイスマネージャを開いた後で、USB で TEXIO 電源を接続し電源をオンします。
- ・ その他のデバイスに  三角マークのデバイスが追加で表示されます。セキュリティの関係で新規のデバイスの自動インストールができないことがあります。
- ・ 右クリックでドライバの更新(Update)を実行します。



- ・ 手動でインストールを選択、フォルダに Driver のフォルダを設定してメッセージに従ってインストールします。
- ・ ユニバーサルシリアルバスコントローラーに TEXIO Universal Device が表示されるとインストールは完了です。

動作確認

取扱説明書に従って電源にシステムアドレス: 1、PC アドレス1を設定します。

PC にドライバ・API のインストールで使ったファイルの Excel フォルダにあるプログラムを実行します。

セキュリティの警告でコンテンツを有効にし、Start ボタンをクリックしてください。

インターフェースを USB、システムアドレスを1、PC アドレスを1にして OPEN をクリックします。

操作ボタンが有効化され、エラーが表示されなければ正しくインストール・設定が行われています。

Output と READ を順にクリックし、電源の出力がオンし、出力されている電圧・電流の戻り値が表示されることを確認、CLOSE をクリックしてから終了してください。

